● ちょっと便利な Excel の小技 ～日付について ●

2004 年 12 月号でも同様のタイトルで小技特集をしましたが、久々の今回は日付の扱い方についての小技のご紹介です。

数値として入力されている日付を加工したい

［ご質問］

ｉ５（ＡＳ）からデータ転送で Excel にデータを持ってきましたが、日付を数値として認識しているようです。例えば「2007 年 8 月 1 日」は「20070801」という数値として扱われています。
これを、「2007/08/01」と表示させ、シリアル値を持つ日付データとして認識させたいのですが、いい方法はありませんか？

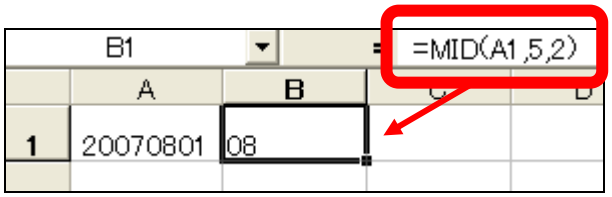
［解決の小技］

◎「2007/08/01」と表示したい場合

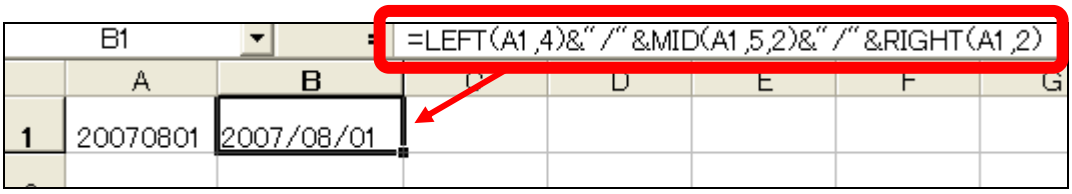
Left、Mid、Right といった関数と、数式の「&」を使ってみてはいかがでしょう。

関数名	関数の書式	関数の説明
Left	Left（文字列, 文字数）	文字列の先頭から指定した数の文字を返します。
Mid	Mid（文字列, 開始位置, 文字数）	文字列の指定した位置から、指定した数の文字を返します。
Right	Right（文字列, 文字数）	文字列の末尾から指定した数の文字を返します。

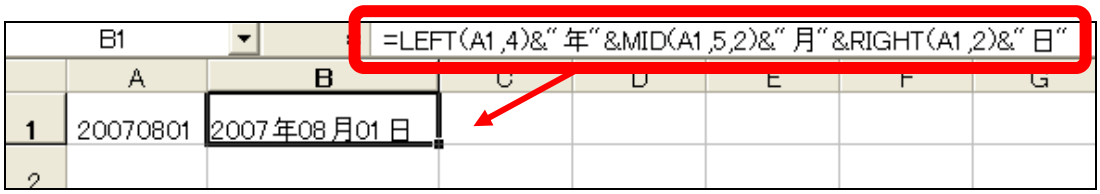
例えば、セルＡ１に「20070801」と入力されている状態で、「=Mid(A1,5,2)」という関数をかけると、「08」という答えが表示されます。「20070801 という値の５桁目から２文字抜き出す」という意味になります。



「=Left(A1,4)」で 2007 を、「=Mid(A1,5,2)」で 08 を、「=Right(A1,2)」で 01 を抜き出し、それらの値と年月日を区切る「／」を&でつなぐことにより、「2007/08/01」と表示させることができます。「／」は文字扱いなので、前後を ” ” で囲っています。



「2007 年 08 月 01 日」と表示したい場合は、「／」の代わりに年･月･日を入れます。



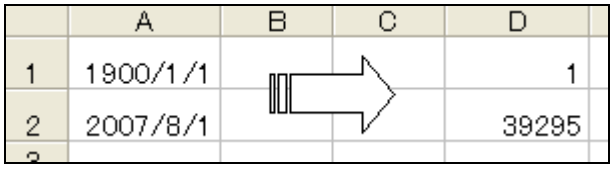
◎シリアル値を持つ日付データとして認識させたい

Excel はセルに入力された値が日付であるかどうかを自動的に判断し、シリアル値に変換して情報を保持しています。

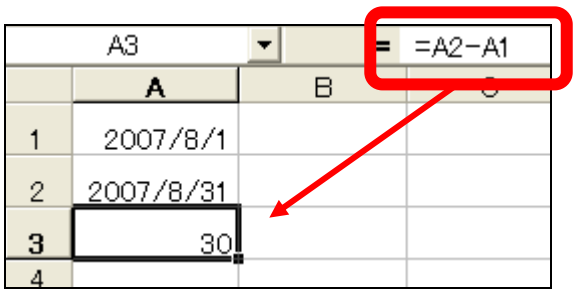
◇ シリアル値とは ◇

Excel では、1900/1/1 を「1」と認識し、そこから 1 日経つごとに 1 ずつ加算していきます。
たとえば、1900/1/15 は「15」、2007/8/1 は「39295」と認識しています。
日付をシリアル値として扱っているため、Excel では日付を使った計算ができるのです。

例えば……
何気なく入力された日付（A列）をコピーし、［形式を選択して貼り付け］の［値］で貼り付けると、シリアル値が表示されます。（D列）

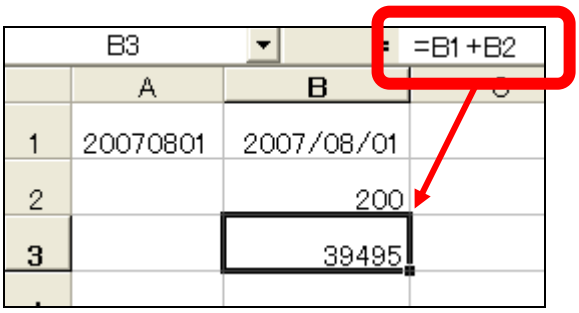


Ａ２からＡ１を引くと、計算結果は３０となります。この計算が成り立つのは、日付がシリアル値として扱われているおかげです。

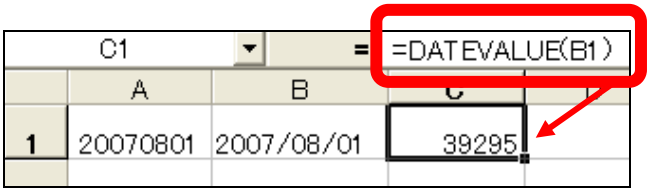


関数や数式を使って、数値「20070801」から「2007/08/01」に表示を変えた日付も、どうやらシリアル値を保持しているようです。

セル B1 には、Left・Mid・Right 関数を組み合わせた式が入っています。
この B1 の日付に、数値の 200（セル B2）を足した答えが、39495 という数値として B3 に表示されています。2007/8/1 のシリアル値は 39295 です。200 を足せば確かに 39495 になりますので、セル B1 はシリアル値として認識されているということになります。



ただし、このセル B1 を、形式を選択して貼り付け→値で別セルに貼り付けても、シリアル値としては表示されないようです。
すっきりとシリアル値に変換してしまいたい場合は、文字列として入力された日付をシリアル値に変換する Datevalue 関数を使ってみて下さい。



今回ご紹介した小技は、実際にお客様からいただいた質問がベースになっています。ある意味、実務に際した小技と言えるかもしれません。お役立ていただければ幸いです！